

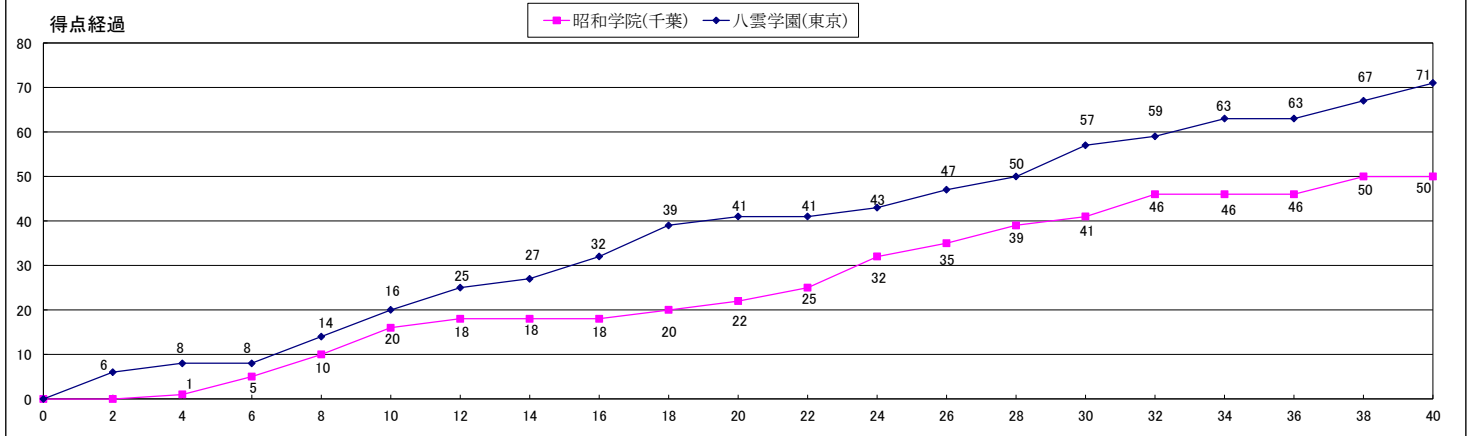
試合No.	M1	大会名	平成27年度 第26回 関東高等学校バスケットボール新人大会									
		期 日	平成28年 2月 7日(日)			会 場	小田原アリーナ					
女子決勝戦		R	渡邊 整(本)		U1	小坂井 郁子(神)		U2	大澤 尚樹(神)			
		チーム名				1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計
		昭和学院(千葉)				16	6	19	9			50
		八雲学園(東京)				20	21	16	14			71

昭和学院(千葉)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス						
片野 星	4																		
大塩菜々子	5	0	0	1	0%	0	5	0%	0	2	0%	1	0	0	0	0	0	1	
佐古 愛	6	9	1	6	17%	3	16	19%	0	0		0	6	1	0	1	0		
笠置 晴菜	*7	6	1	4	25%	1	8	13%	1	2	50%	2	3	0	0	0	5	1	
赤穂 ひまわり	*8	19	0	1	0%	8	16	50%	3	4	75%	10	12	3	1	0	5	1	
城内 はるか	*9	3	1	5	20%	0	4	0%	0	0		1	6	5	1	0	1	2	
宗形 真李	*10	4	0	2	0%	2	4	50%	0	0		0	2	0	1	0	2	1	
齋藤 絢	11	9	0	0		4	10	40%	1	4	25%	2	1	0	0	1	3	2	
山下 詩織	*12	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	2	
波多野 有沙	13																		
玉木 テレサ	14																		
関 千尋	15																		
平野 尚	16																		
寺内 はる菜	17																		
石川 菊理	18																		
コーチ 鈴木 親光																			
合計		50	3	19	16%	18	63	29%	5	12	42%	16	30	9	3	2	17	10	

八雲学園(東京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス						
佐藤 由璃果	*4	30	0	2	0%	12	27	44%	6	6	100%	4	5	1	2	8	2	4	
石田 乃愛	5																		
桐川 美流	*6	10	2	3	67%	2	5	40%	0	0		0	5	5	1	0	2	0	
吉田 舞衣	*7	17	3	10	30%	4	9	44%	0	0		2	10	3	2	1	4	1	
材津 愛海	8																		
金子 さくら	*9	7	0	1	0%	3	10	30%	1	2	50%	2	5	3	2	1	1	1	
大江 風紗	10	5	1	1	100%	1	1	100%	0	0		1	0	3	2	0	0	2	
佐藤 陽香	*11	2	0	0		0	0		2	2	100%	2	3	3	0	0	0	1	
押山 裕美子	12																		
飯塚 夏那	13																		
渡部 亜矢	14																		
宮下 茉侖	15																		
日塔 愛美	16																		
馬場 菜穂子	17																		
	18																		
コーチ 高木 優子																			
合計		71	6	17	35%	22	52	42%	9	10	90%	11	28	18	9	10	9	9	



戦評

1P 両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。八雲学園は五人がオールラウンドに動き、ドライブから昭和学院のファールを誘う。昭和学院は⑧を中心にオフェンスを組み立てるが、八雲学園④、⑦のブロックショットに阻まれシュートが決まらず、5分で八雲学園が8-3とリードする。その後、センターが走って速攻を決める八雲学園に対し、昭和学院もガードとセンターのピックプレーや⑧のゴール下で対抗し、20-16八雲学園リードで終了する。

2P このピリオドも④、⑦のセンスあふれるオールラウンドなオフェンスで八雲学園が有利な展開となる。(18-27八雲学園リードで昭和学院タイムアウト)昭和学院はインサイドの⑧にボールを入れるが、八雲学園はダブルチームで守り得点を許さない。その後、昭和学院も⑧の個人技で得点するが、④、⑦の高さでリバウンドを制する八雲学園がリードする。(22-41八雲学園リード)

3P 疲れの見え始めた八雲学園に対し、昭和学院⑧、⑩が良く走り速攻で得点し、点差を詰めるが、八雲学園も④のブロックショットで流れを戻し、⑩、⑥の3pts、④の個人技で再び点差を戻す。(41-57八雲学園リード)

4P 昭和学院はプレスディフェンスで流れをつかみ、外からのシュートの確率もあがり点差をつめる。八雲学園も高いリバウンドを見せる昭和学院⑧に対し、チーム全員でディフェンスリバウンドを頑張る。昭和学院の流れを止める。(46-63八雲学園リードで昭和学院タイムアウト)その後、昭和学院は積極的なドライブ、3pts、プレスディフェンスで逆転を狙うが、⑦から④のコンビプレーで得点する八雲学園の優位は動かず、八雲学園の勝利で試合終了となる。一試合を通じて、間合いを上手に使った八雲学園のディフェンスが目立った。